

時代を超え、調和する建物

一番街には、さまざまな特徴を持つ蔵造りの建物が軒を連ねています。その中に、「平成」になつてから建てられた蔵造りの建物があるのをご存じですか。



幸町にある「金笥」(平成7年建築)がその建物です。建物は、6寸勾配の軒深い瓦屋根、黒漆喰の外壁、重厚な観音開扉、棟の両側に位置する大きな影盛と鬼瓦などといった、川越の蔵造りの特徴を再現しています。

また、表通りから見えない路地側には、デザイン性の高いひさしや丸窓が設けられ、現代的な一面も併せ持っています。過去と現在の特徴を持つこの建物は、隣に建つ重要文化財、大沢家住宅(1792年建築)とも違和感なく調和。時代を超えて共存している姿が評価



され、平成8年の「かわごえ都市景観表彰」で、「都市景観デザイン賞」を受賞しています。

同課(本庁舎5階)では、都市景観表彰受賞作品を紹介する「かわごえ都市景観表彰作品集」を作成し、無料で配布しています(市ホームページからもダウンロード可)。作品集を手に、秋の空気を感しながら、作品巡りをしてみてはいかがでしょうか。



農政課 224-5939

サトイモ

秋も深まり、温かいものが恋しくなるこの季節。「うちのサトイモは、煮物はもちろん、おでんやカレーに入れても、本当においしいですよ」と語るのは、飯野芳彦さん・綾子さんご夫婦(今福)。

「植える時期や水の量など、何かとワガママな野菜なので、毎日畑を見て回ります」と飯野さん。土にもこだわり、木の葉や有機肥料などを地中で発酵させ、昔ながらの落ち葉堆肥に近づけているそうです。

飯野さんは、お客さんにいろいろな味を楽しんでもらうため、「土垂」を中心に「京芋」「セレバス」

など、さまざまな品種を作っています。飯野さんのサトイモは、自宅前の庭先販売所や、市内スーパーで購入できるほか、12月10日(日)にウエスタ川越で開催されるイベント「川越の『おいしい』そろいました」にも出展予定です。サトイモは、霜が降り始める今が旬。ぜひ味わってみてください。



～お知らせ～

11月18日(土)午前9時30分から埼玉川越総合地方卸売市場食育ショップ前で、川越産サトイモを使ったレシピ(女子栄養大作成)の無料配布と試食を行います(先着300人)。ぜひ、お越しください。



命芋掘りをしていました。自分の顔ほどある大きなサツマイモを持ち上げ、目をキラキラさせている姿は、少し誇らしげでした。家に帰り、子どもたちが食欲の秋を満喫している様子が目に浮かびます。



表 紙の写真はサツマイモ収穫体験の様子。子どもたちが泥まみりになりながら、スコップを片手に一生懸命に掘り進んでいました。自分の顔ほどある大きなサツマイモを持ち上げ、目をキラキラさせている姿は、少し誇らしげでした。家に帰り、子どもたちが食欲の秋を満喫している様子が目に浮かびます。

編集後記
どんぶり

広報川越1402

発行日/平成29年11月10日(毎月10日・25日発行)
発行/川越市 〒350-8601埼玉県川越市元町1丁目3-1 <http://www.city.kawagoe.saitama.jp/>
市役所代表 ☎049-224-8811 ☎049-225-2171
編集/広報室

「声の広報川越(CD)」 「点字広報川越」を作成しています。ご希望の方は、広報室までご相談ください。
☎224-5495 ☎225-2171

私的利用の範囲を除き、記事や写真の無断転載を禁止します。

この印刷物は、グリーン購入法に適合する紙を使用し、印刷用の紙へ、リサイクルできます。 リサイクル適性

Fontworks
UDFont